



2014年3月期決算説明会

2014年5月14日

バンドー化学株式会社

I . 2014年3月期決算の概要

II . 2015年3月期業績予想

I . 2014年3月期決算の概要

■ 2014年3月期 ハイライト

(百万円、%)

	2012/3	2013/3	期初予想	2014/3	前年同期比
	実績	実績		実績	
売上高	86,372	85,771	92,000	93,434	+8.9
営業利益	4,570	4,094	5,600	5,517	+34.8
経常利益	4,391	4,779	6,000	6,103	+27.7
当期純利益	1,440	2,510	4,000	4,280	+70.5

- 売上高は前年同期比+8.9%増、営業利益は同+34.8%の増益。
- 当期純利益も、前年同期比+70.5%の増益。(史上2番目)
- 業績予想(2013.5.13発表)対比では、売上高101.6%、営業利益98.5%、当期純利益107.0%。

■ 事業セグメント別業績

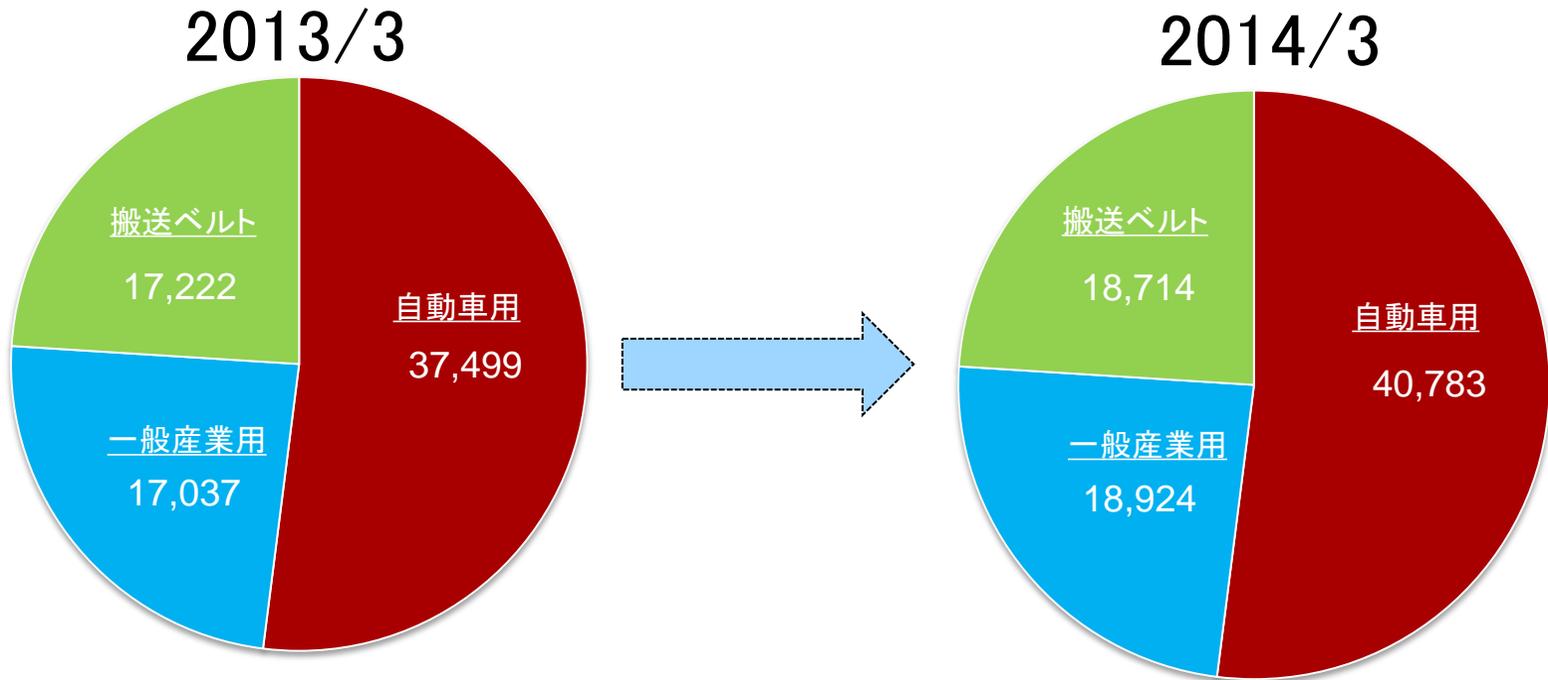
(百万円、%)

	2013/3	期初予想	2014/3	前年同期比
	実績		実績	
売上高	85,771	92,000	93,434	+8.9
ベルト事業	72,275		80,034	+10.7
エラストマー製品事業	12,380		12,437	+0.5
その他	1,493		2,230	+49.3
セグメント間消去	△377		△1,268	—
営業利益	4,094	5,600	5,517	+34.8
ベルト事業	4,344		5,161	+18.8
エラストマー製品事業	△163		11	—
その他	73		187	+154.9
調整額	△159		157	—

(注)2013年4月1日付けの組織改正に伴い、報告セグメントを変更しており、2012年3月期のセグメント別の数値につきましては記載しておりません。

■ ベルト事業 業況

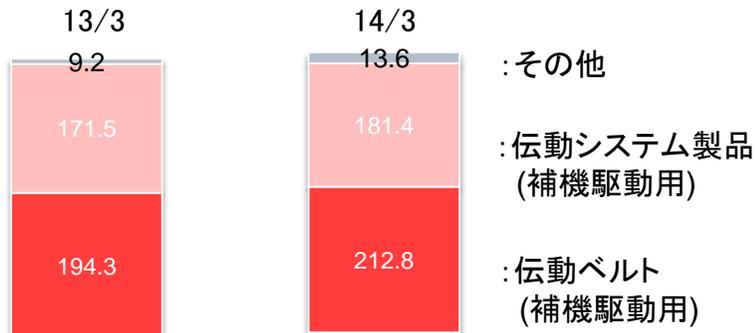
(単位:百万円)



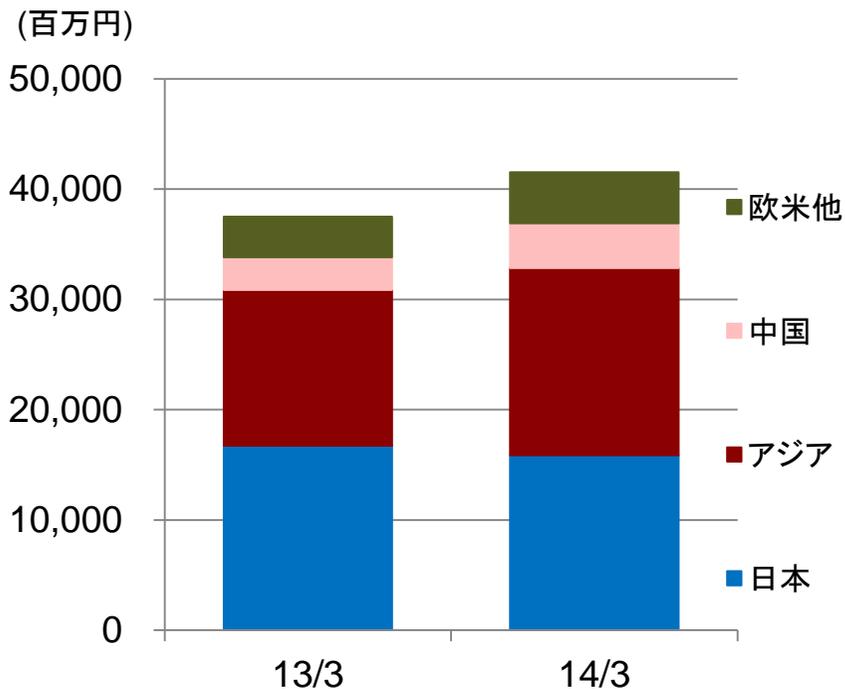
- 自動車用伝動ベルトの売上高は、32億8千4百万円の増加
- 一般産業用伝動ベルトの売上高は、18億8千7百万円の増加
- 搬送ベルトの売上高は、14億9千2百万円の増加

自動車用伝動ベルト製品

売上構成(主要製品別)



所在地別売上高



【製品別】

- 補機駆動用伝動ベルトの販売が伸長
- スクーター用変速ベルトの販売が伸長
- 一方向クラッチ内蔵プーリの販売が伸長

【所在地別(日本)】

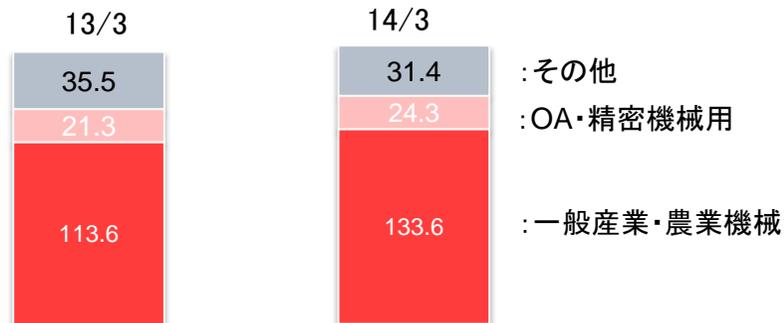
- 自動車業界におけるハイブリッドカーの比率上昇に伴いベルトレスの車が増え、国内は減少傾向

【所在地別(在外)】

- アジアでは、スクーター用変速ベルトの販売伸長、インドのバンガロール工場の一貫生産の開始およびベトナム進出の寄与が大
- 中国では、自動車向補機駆動用伝動ベルトの販売が伸長
- 欧米も緩やかに回復

■ 一般産業用伝動ベルト製品

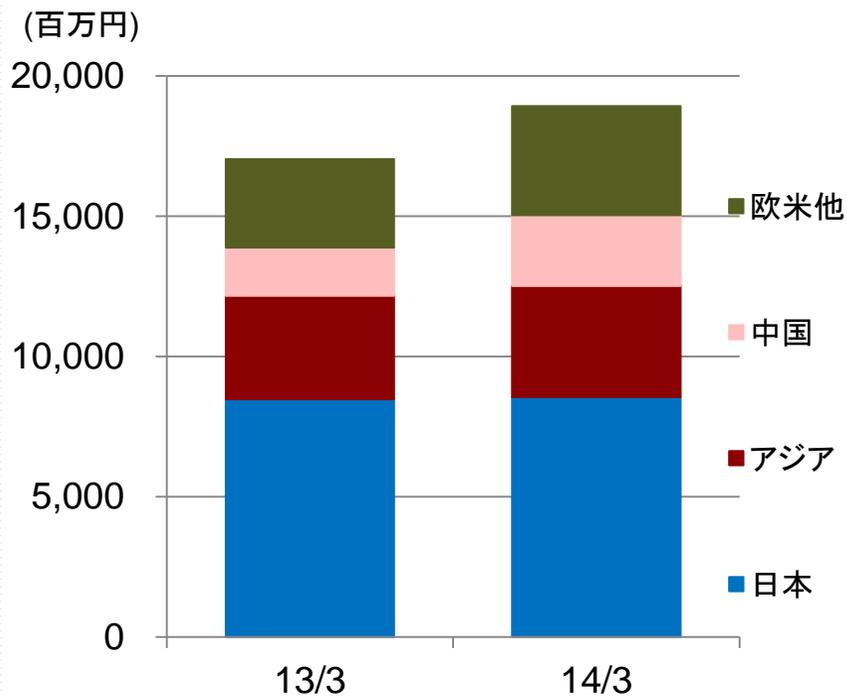
売上構成(主要製品別)



【製品別】

- 農業機械用ベルト販売が伸長

所在地別売上高



【所在地別(日本)】

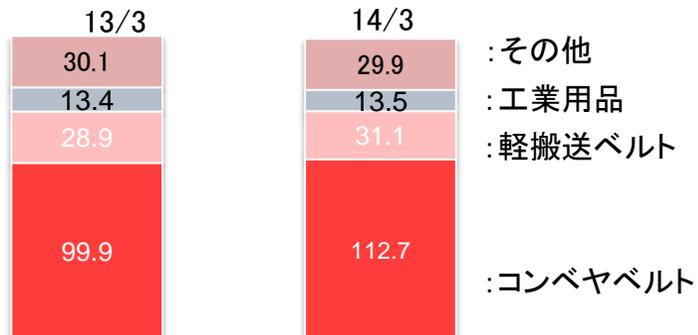
- 国内の補修市場向けが伸長

【所在地別(在外)】

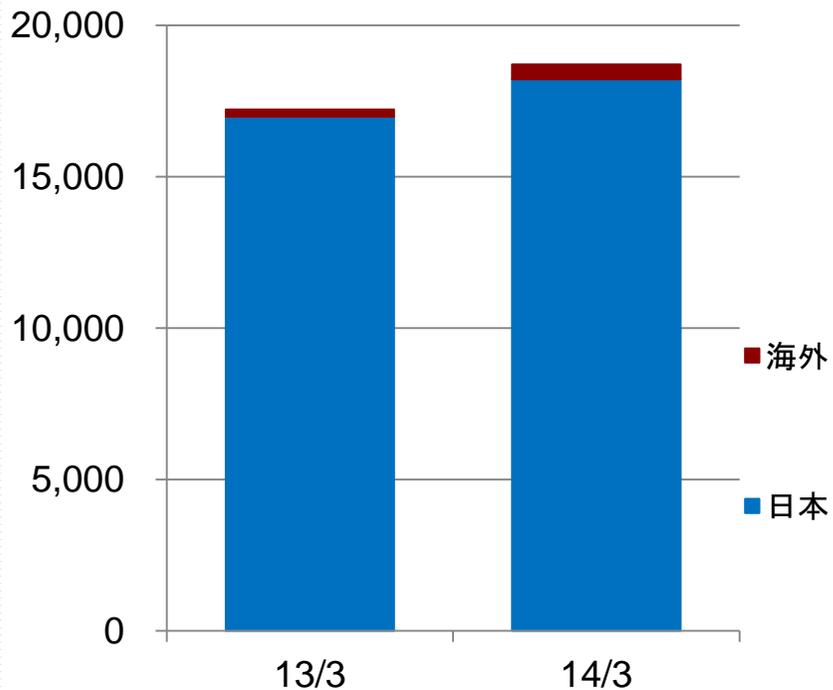
- 中国での農機用・精密機械用ベルトが伸長
- アジアの伸長は、農機用・精密機械用ベルトが貢献
- 欧米・その他地域においては、南米での販売増が貢献

■ 搬送ベルト

売上構成(主要製品別)



所在地別売上高

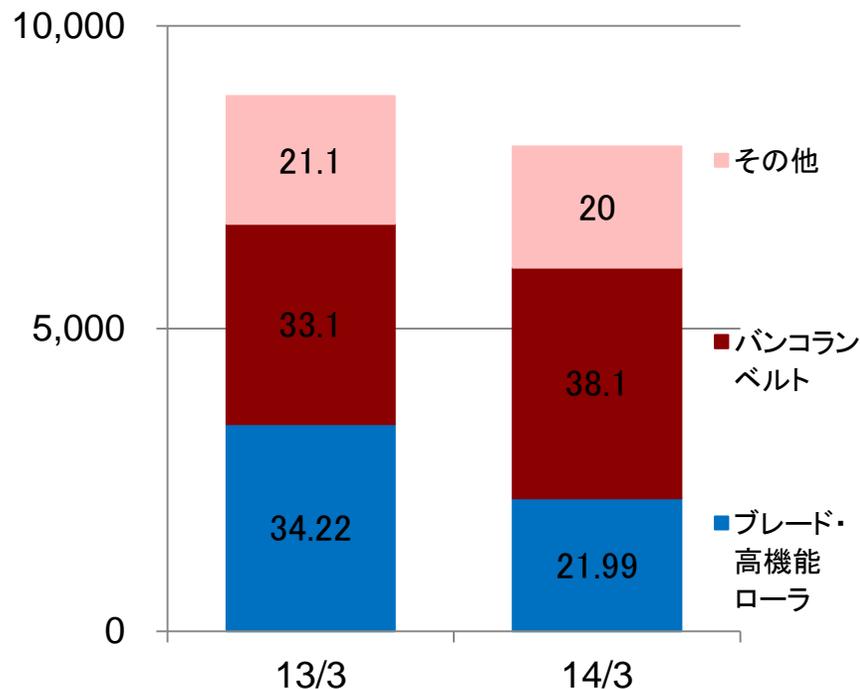


- 製鉄所向けコンベヤベルトの販売が伸長
- 石炭火力発電所向けの急傾斜ベルトの販売が伸長
- 資源開発向けのコンベヤベルトの販売が伸長
- 中国の加工拠点の強化により樹脂軽搬送ベルトの販売が伸長

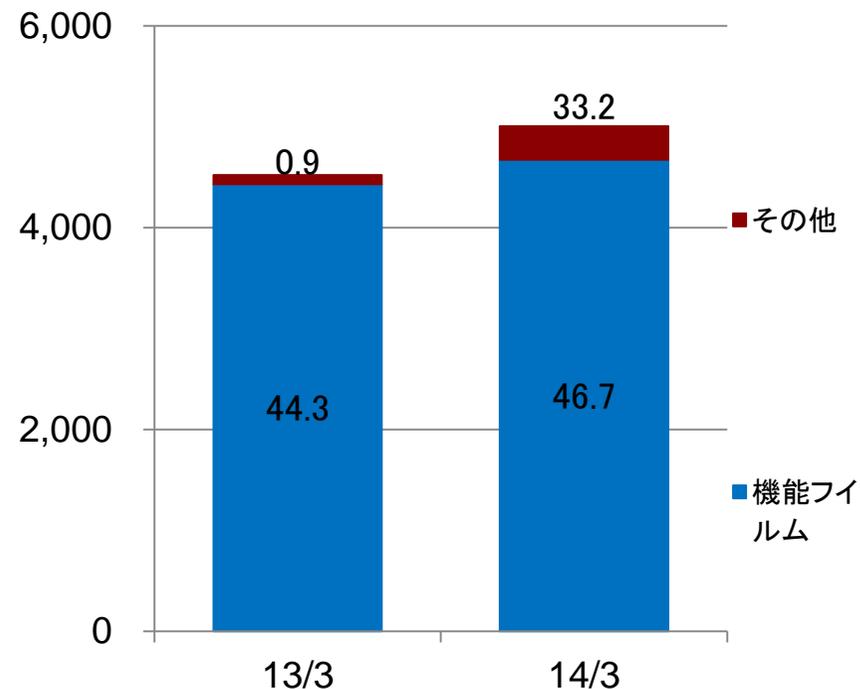
- 販売は、国内中心
- 国内での急傾斜ベルト、樹脂軽搬送ベルトの販売が好調
- 海外においては、中国の樹脂軽搬送ベルトの売上が伸長

■ エラストマー製品事業 概況・トピックス

精密機能部品製品



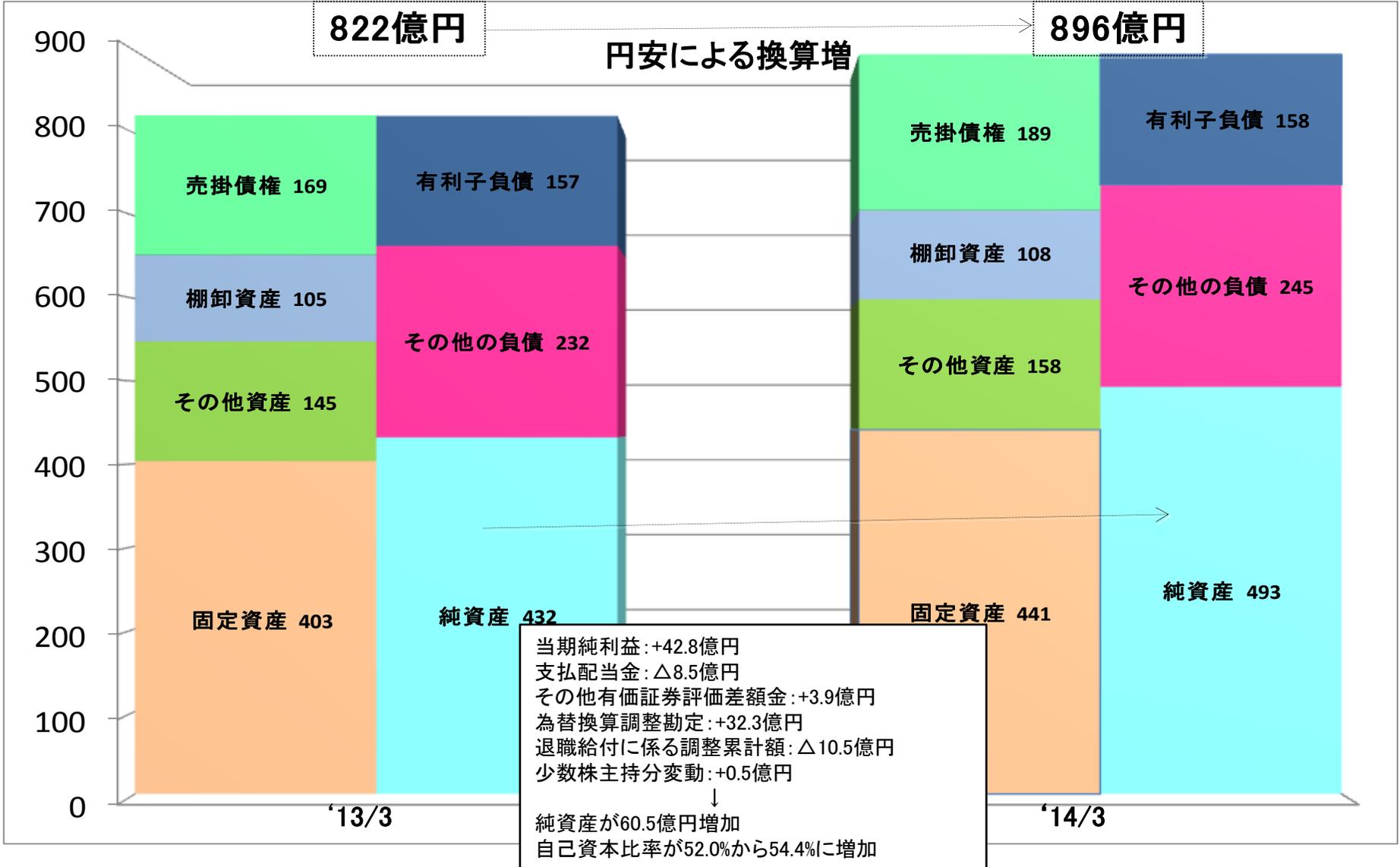
機能フィルム製品



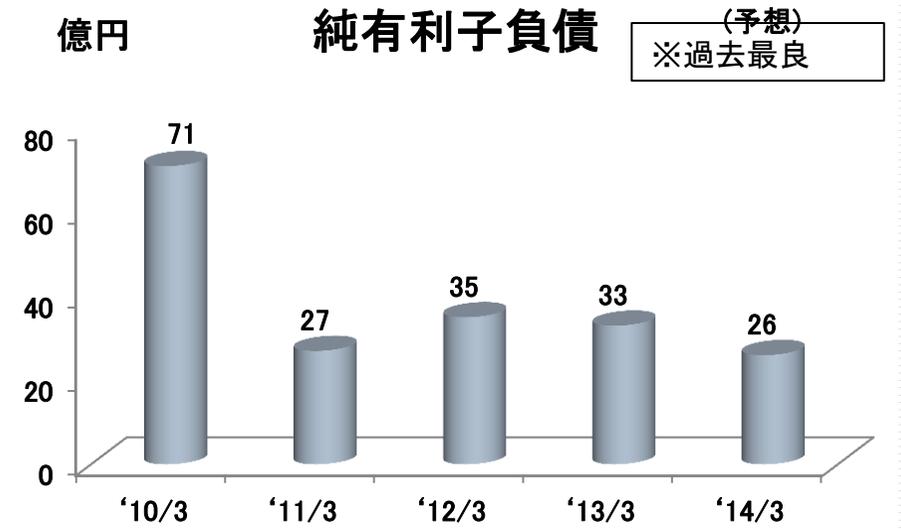
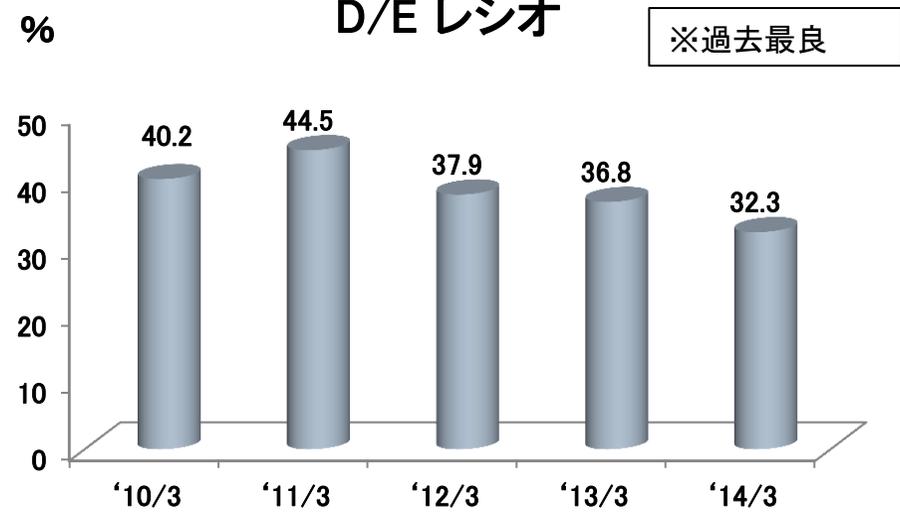
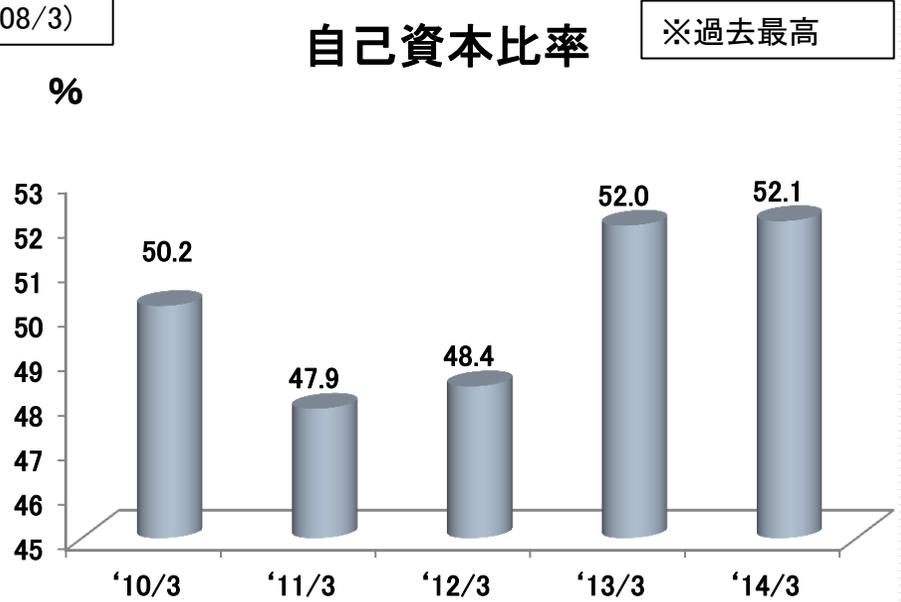
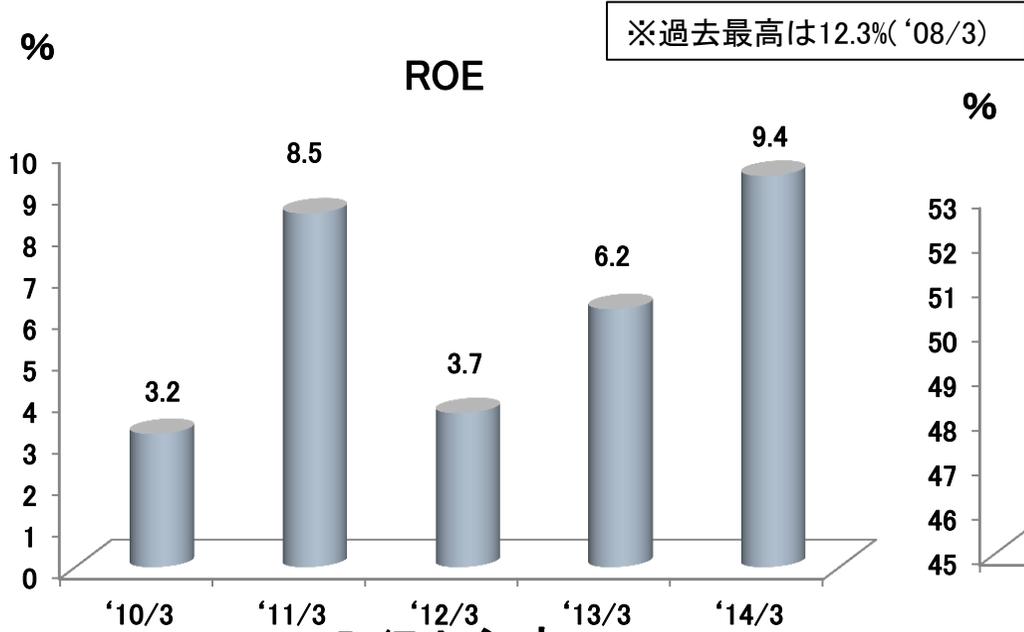
- 電子写真出力機器向けでは、高機能ローラの長寿命化により売上増となったが、ブレードの落ち込みをカバーしきれず
- バンコランベルトは、国内向けの売上が増加

- 住宅着工件数の増加に伴い、建設資材用フィルムが伸長
- ラインナップの充実による装飾表示用フィルムの販売の伸長

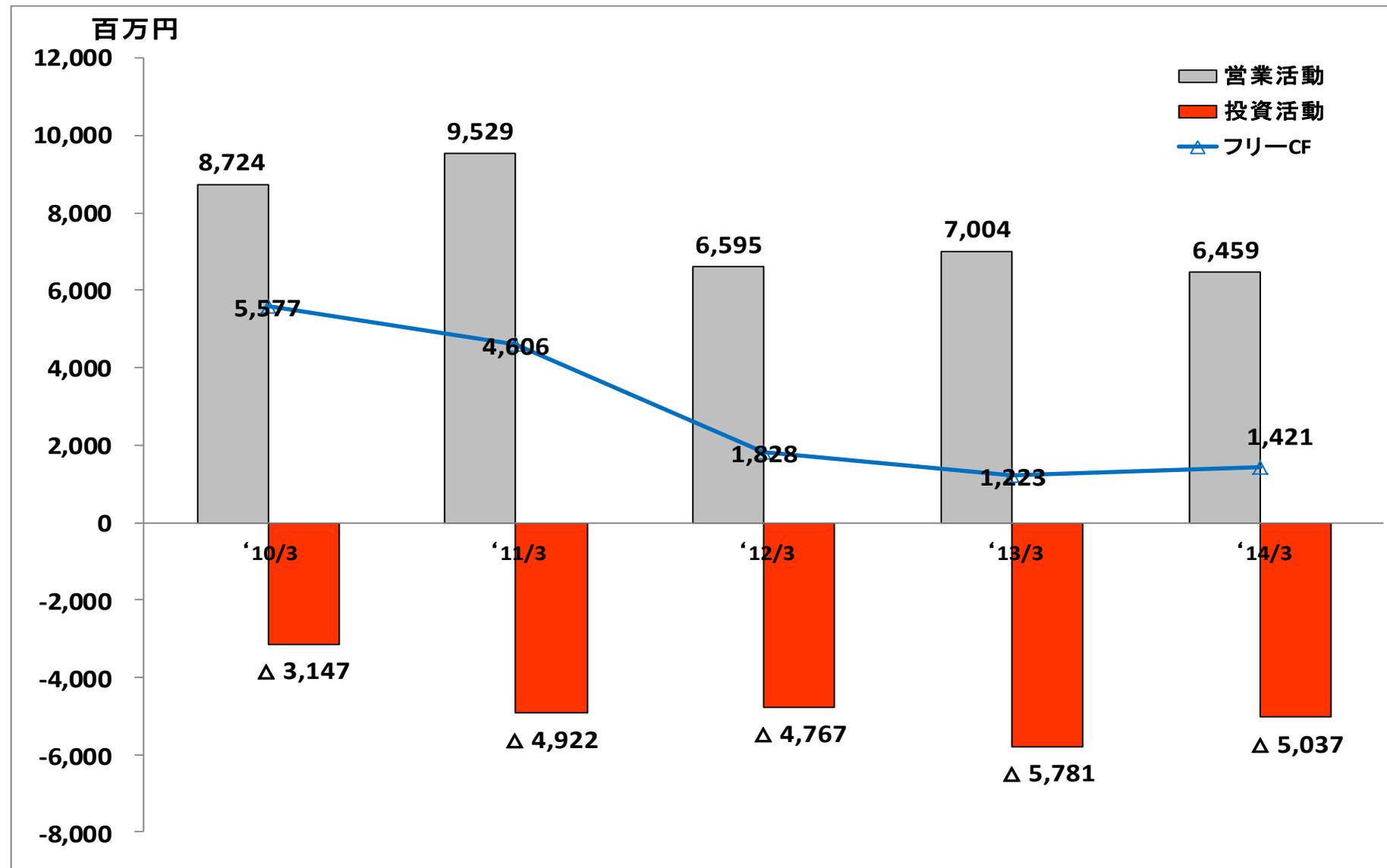
■ 連結貸借対照表



財務指標



■ キャッシュフローの推移



Ⅱ. 2015年3月期業績予想

2015年3月期 業績予想

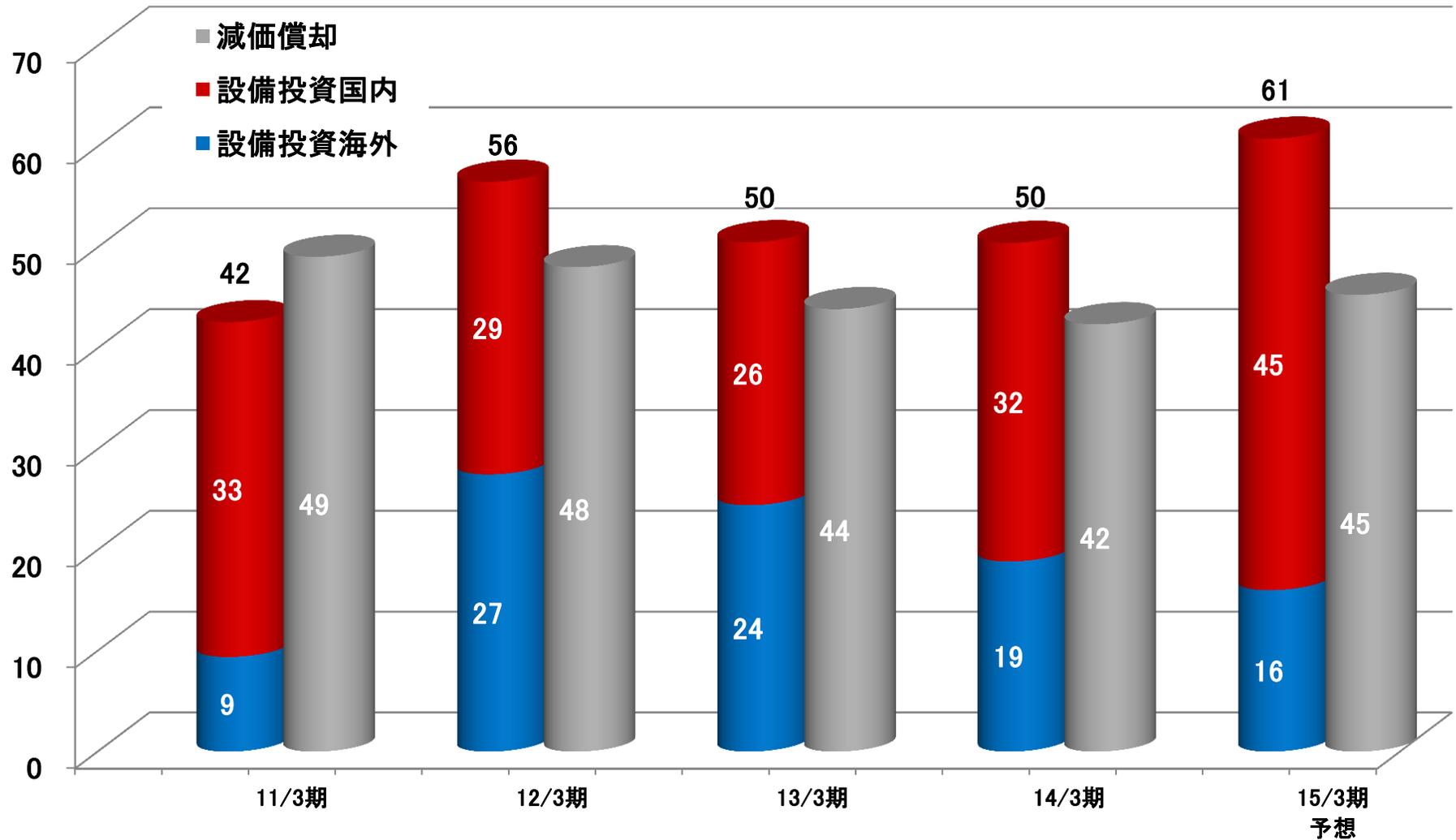
(百万円、%)

	2013/3	2014/3		2015/3 予想	
	実績	実績		前年同期比	
売上高	85,771	93,434	95,000	1,566	+1.7
営業利益	4,094	5,517	5,800	283	+5.1
経常利益	4,779	6,103	6,400	297	+4.8
当期純利益	2,510	4,280	4,300	20	+0.5

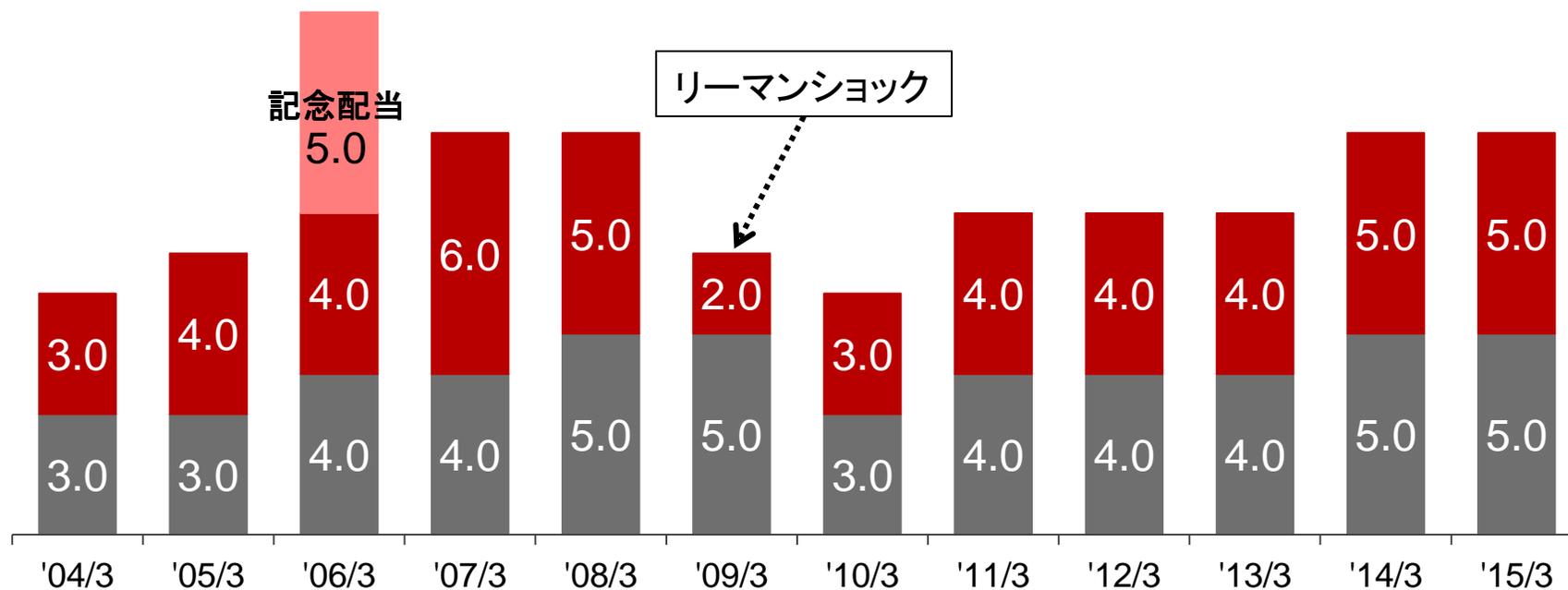
- 販売面では、国内の消費税増税に伴う自動車販売減などの減収要因や、タイの政情不安など不透明要素はあるものの中国やアジアおよび米州における自動車補修、2輪、農機、一般産業向け製品の販売拡大により増収を見込む。
- 利益面では、ナフサ価格の上昇に伴う原材料費のアップやエネルギー費用の上昇、さらに物流費や人件費アップなどの減益要因はあるものの、中国・アジアの販売拡大や、全世界でのコストダウンにより増益を見込む。
- 想定為替レート・・・1USD=100円、1EUR=135円、1人民元=17円

■ 設備投資額と減価償却費の推移

億円



株主還元

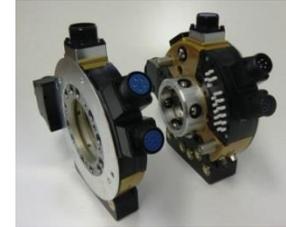


連結 EPS	33.4	38.2	35.2	39.3	52.7	△2.6	12.3	33.7	14.8	26.5	45.5
配当 性向	18.0%	18.3%	36.9%	25.4%	19.0%	—	48.7%	23.7%	53.9%	30.2%	22.0%

主なトピックス

2013年

- 4月・販売子会社の合併を実施
(東日本バンドー株式会社が北海道バンドー株式会社を合併)
(西日本バンドー株式会社が九州バンドー株式会社を合併)
- ビー・エル・オートテック株式会社が新世代ロボット用ツールチェンジャー「QUICK-CHANGE ZEUS」(150~230kg可搬)を発売
- 5月・中長期経営計画”Breakthroughs for the future”(未来への躍進)を発表
- 6月・敷くだけのフロアサイン「STOP SHEET」を開発



↑「QUICK-CHANGE ZEUS®」



↑「STOP SHEET®」

- 8月・「CSR報告書2013」を発行
- 9月・バンドー興産株式会社が効ソーラー発電所
「BANDO eco moving 足利太陽光発電所」を足利工場内に開設



「効ソーラー発電所」→



- 11月・環境にやさしい「バンドーバンライト®EZ-Stick®」を発売
・フィリピンでの台風被災地に対する義援金を寄付
・歯付ベルト「Ceptor®-VI S3Mタイプ、S5Mタイプ、S14Mタイプ」投入により、シリーズ化



←「バンドーバンライト®EZ-Stick®」



「Ceptor®-VIシリーズ」→



↑「HFD®システム」

2014年

- 1月・「HFD®システム」が「平成25年度省エネ大賞・資源エネルギー庁長官賞」を受賞
- 3月・光通信コネクタの仕上げ用 精密研磨フィルム「TOPX® S035」を発売
・「室温焼成型銀ナノ粒子インク」、「低温焼成型銀ナノ粒子接合材」を開発



「TOPX® S035」→